

授 業 科 目 名	教養講義(運動生理学)	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブ タイトル	身体運動による生理機能の増進について学ぶ	担当者	麓 正樹			
講義概要	<p>【概要】本講義では、運動中の身体の応答、運動による身体の適応および運動調節について、生理学的観点から理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>運動による骨、関節および骨格筋の適応について説明できる。</p> <p>2. 運動発現と脳・脊髄神経系の運動による適応について説明できる。</p> <p>3. 運動調節について説明できる。</p> <p>4. 運動による呼吸・循環器系の応答と適応について説明できる。</p> <p>5. 運動中の血液の役割について説明できる。</p> <p>6. 運動中の消化器系の応答について説明できる。</p> <p>7. 運動中のエネルギー供給機構を説明できる。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】・必要に応じて資料等を配布する。</p> <p>【参考書】・運動生理学 20 講 勝田茂編著 朝倉出版</p> <p>・トトラ人体の構造と機能 大野忠雄他共訳 丸善株式会社</p>					
授業回数	内容					
1	オリエンテーション(履修方法、授業概要の説明)					
2	骨格筋の運動による適応					
3	骨の運動による適応					
4	運動発現と脳・脊髄神経系(大脳皮質、大脳基底核)					
5	運動発現と脳・脊髄神経系(小脳および脊髄)					
6	運動調節と脊髄および脳幹反射					
7	運動と感覚系					
8	運動と血液					
9	運動による心循環の応答と適応					
10	運動による末梢循環の応答と適応					
11	運動と呼吸					
12	運動とガス交換					
13	運動と消化および吸収					
14	運動時のエネルギー供給機構					
15	授業全体のまとめ					
評価方法	・出席状況・試験・レポートにより総合的に評価する。					
評価基準	・上記授業単元の内容をよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	<p>・私語などにより授業を妨げる場合は即刻退室を命じ、以後の受講を認めない。</p> <p>・Dカリキュラム(スポーツ法コース)の学生の受講を優先する。</p>					